

# 背くらべせいらべ

作曲 中山晋平  
作詞 海野厚

柱はしらの傷きずは おととしの

五月五日ごがついつかの 背せいくらべ

ちまきたべたべ 兄にいさんが

計はかつてくれた 背せいのたけ

昨日きのうくらべりや 何なんのこと

やっと羽織はおりの 紐ひものたけ

柱はしらに凭もたれりや すぐ見みえる

遠とおいお山やまも 背せいくらべ

雲くもの上うへまで 顔かお出だして

てんでに背せ伸のび していても

雪ゆきの帽ぼうし子こを 脱ぬいでさえ

一いちはやっぱり 富ふ士じの山やま

